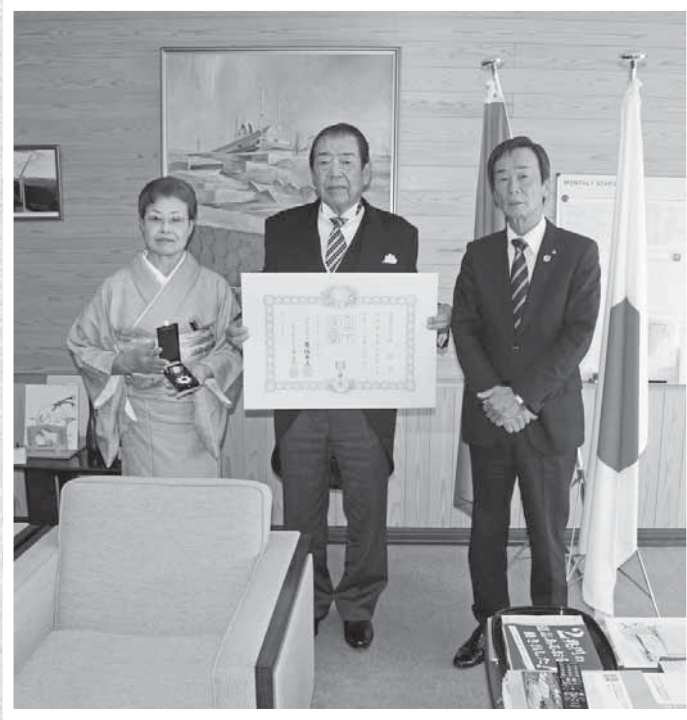


平成27年 秋の叙勲受章

平成27年秋の叙勲を受賞されました。永年の功績に対する栄えある受賞おめでとうございます。

旭日双光章 ^{はやし}林 ^{まさおみ}雅臣さん

昭和58年4月に旧川辺町議会議員に初当選し、合併後の日高川町議会議員を含め、8期25年にわたり在職されました。旧川辺町では、議会議長を2期4年、副議長を1期2年、高速道路対策特別委員会委員長などを歴任されました。新町では、初代議会議長として、新町発展の礎を築かれました。また、和歌山県町村議会議長会会長を歴任され、町内外を問わず地方自治の発展に寄与されました。

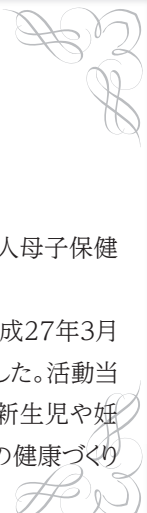


平成27年度全国母子保健推進会長表彰

にしかわ ^{みねこ}西川 峯子さん

日高川町母子保健推進員の西川峯子さん(川原河)が、公益社団法人母子保健推進会議会長表彰を受賞されました。

昭和47年に旧美山村で母子保健推進員活動がスタートしてから平成27年3月末まで約30年間、保健推進員として子育て支援活動に取り組まれました。活動当初は集落が点在する地域で道路整備状況も乏しい中、担当地区の新生児や妊産婦の訪問を徒歩で行う等、地域の母子の良き相談者となり、母子の健康づくりに努められました。



北関東・東北豪雨災害義援金

696,851円を被災地へ送りました

日高川町では、平成27年9月の北関東・東北豪雨災害で被災された被災市町への義援金箱を役場本庁、各支所、出張所の4ヶ所に設置し、10月30日までで 696,851円 の義援金が町に寄せられました。みなさまのご厚志、誠にありがとうございました。

寄せられました義援金は、茨城県共同募金会を通じて被害に遭われた方々にお届けいたします。

■お問合せ 総務課 ☎22-1700



平成27年度 日高川町文化表彰

日高川町では、文化の向上発展または創造に顕著な功績や功労があった個人・団体を表彰する文化表彰を新設し、11月10日に農村環境改善センターにおいて表彰式を行いました。

日高川町文化賞(個人の部) ^{とね}戸根 ^{きいちろう}騏一郎さん(千津川)

■業績及び経歴等 昭和56年、社団法人日本画府の副理事長兼大阪支部長であった柳道成先生(大阪府在中・日高川町土生出身)に師事し、指導を受ける。昭和58年に社団法人日本画府主催の日府展に初入選し、川辺町文化功労賞を受賞する。昭和61年に日府展新人賞を受賞し、翌年には日府展会員となる。以後、東京都立上野美術館で開催される日府展で14回入選する。平成5年に日府展奨励賞を受賞し、日府展理事となる。平成6年に日府展評議員となり、平成7年と平成8年には日府展努力賞を連続受賞し、日府展審査員となる。平成7年には御坊市文化賞を受賞する。昭和58年から川辺文化協会所属の水墨画部、同協会日本画部、御坊市文化協会所属の日本画グループの講師、御坊市美術展覧会の審査委員として、また他町村の水墨画グループ(日高町、由良町、旧中津村)の講師として30数年間に渡って指導した。本町における文化活動の推進や文化の向上発展に尽力されてきた功績は誠に多大であるとして表彰されました。



日高川町文化賞(団体の部) ^{なるたきうたかい}鳴滝歌会

●創立/昭和35年 ●代表/片山清子さん ●会員数/17名

■業績及び経歴等 創立以来55年の歴史を有する。月に1回例会を開催し、自作短歌の相互批評を通じて会員が互いに表現力等を磨き合っている。また、日高短歌の会など町内外の短歌会との交流も積極的に行っている。旧中津村時代には9年間に渡って子どもから一般の方まで参加できる「新春かるた大会」を開催し、また11年間に渡って中津公民館主催の「百人一首大会」の運営協力を行った。中津地域にちなんだ短歌を公募・編集し、「中津百人一首」を刊行した。発足以来、歌集を10年ごとに計5回発行している。平成7年には「中津村文化賞」を受賞した。短歌の普及とともに、地域文化の高揚、文化活動の活性化への功績は誠に多大であるとして表彰されました。



日高川町文化奨励賞(個人の部) ^{はなじり}花尻 ^{かな}佳奈さん(佐井)

■業績及び経歴等 昨年開催された第60回御坊市美術展覧会・洋画の部で上位3番目となる教育委員会賞を受賞した。今年6月にザ・リッツカールトン東京で開催された「第16回高校生国際美術展美術の部」に絵画を応募し、1794点の中から上位10番目にあたる「報知新聞社賞」を受賞し、その作品は7月まで東京国立新美術館に展示された。和歌山県立紀央館高等学校美術部の部長として、技術的な面はもとより、常に後輩の手本となる行動をとり、美術部を牽引した。現在も制作活動を続けており、今後もより一層の活躍が期待されるため、表彰されました。

日高川町文化奨励賞(団体の部) ^{みやまだいこほぞんかい}美山太鼓保存会

●創立/昭和59年 ●代表/玉置敦子さん ●会員数/28名

■業績及び経歴等 創立当時は、愛郷心の育成と後世に残す文化遺産の創作為目的に地元婦人会の会員を中心に構成された。創立当初の曲「日高川清流のぼり打ち」は小中学校の元先生方(女性)による作曲で、振り付けは当時の婦人会長が指導に当たった。それが新たな地域文化を創造していること、また、演奏者が女性のみである創作太鼓グループとして珍しく貴重な存在として注目を浴びた。現在は、作曲家に依頼して曲数を増やし、地元中学生や小学生もメンバーとなり活動している。平成11年に「南紀熊野体験博」へ出演した。町村合併後も町内各行事に積極的に参加し、平成24年には当町で開催された「星空の街・あおぞらの街」全国大会に出演した。創作太鼓の普及・保存・伝承を通して本町の文化振興に果たしてきた功績は大きく、今後も一層の活躍が期待されるため表彰されました。